

△だより

2023 8

No.354

なかぬま



小麦収穫作業

– 22区 角谷 孝司さん ほ場 –

新規就農者に 激励状を贈る

7月18日、長沼町役場で長沼町食料・農業・農村振興協議会の主催による新規就農者激励会が開催されました。



柴田組合長から激励状が手渡されました

斎藤町長からは、「少子高齢化の中、7名が新規に就農され、農業が主産業である長沼町としても大変心強い。厳しい時代を迎えているが皆さんの柔軟な発想と熱い情熱で、これから長沼の農業が先進的で豊かになるよう期待している」と挨拶されました。

柴田組合長からは、「農業が国家の基礎をなす産業であることに、誇りをもつて営農に励んでいただきたい。複雑な社会情勢による、資材・燃油価格の高騰、国の農業政策の影響を受け生産環境が変化し、経済のグローバル化の時代における影響など、農業を取り巻く課題が多くあります。農業者一人ひとりの力では解決の見えない今こそ、農業者が互いに認め合い・助

け合うことに意義を感じて結束していただいたい。関係機関と連携しながら全力でサポートしたい」と激励されました。

平井町議会議長からは、「町では基幹産業である農業を衰退させることなく、農業経営の安定を図るための各種施策に取組んでいる。これからも農業経営が厳しい道のりになるかもしれないが、焦らず努力し、自らの信念に基づき、創意工夫し、自身の農業経営を確立しながら消費者の笑顔を糧に、誇り高い農業者になってほしい」と挨拶されました。



抱負の言葉を述べる田村さん

新規就農者紹介



6区 吉田 誠



7区 村井 拓成



16区 松坂 慶介



24区 角谷 慧祐

異業種からの参入なので一日も早く周りの方々に追いつけるように頑張ります。

まだ未熟ではありますが、歩みは遅くとも、一步歩着実に進んで、日々精進してまいりたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

長沼町を支える農家になれるように、これからもっと勉強していきたいです。

前職は建設会社に勤めていましたが、今年度より就農することになりました。前職とは仕事内容もかなり変わり、また0からスタートになりますが、良い作物を作り、いろんな方に喜んでいただき、町に貢献できるよう頑張りたいと思います。町に貢献できるまだまだ未熟ですがよろしくお願ひします。

前職は建設会社に勤めていましたが、今年度より就農することになりました。前職とは仕事内容もかなり変わり、また0からスタートになりますが、良い作物を作り、いろいろな方に喜んでいただき、町に貢献できるよう頑張りたいと思います。町に貢献できるまだまだ未熟ですがよろしくお願ひします。

主な作物は長ねぎとブロッコリーで、家族とパートさん数人でできる規模で、堅実に農業を続けていくことが将来のビジョンです。また、ほかの作物も少しずつ挑戦していきたいと思っています。小さくまとまりつつも、しっかりと生活できる利益を得て、地域の一員として農業者として認められるような経営を続けていきます。失敗を数多く経験すると思いますが、家族一丸となつて、乗り越えていきます。長沼町に移住してからの5年間、仕事を通じて、研修を通して、地域の一員として、農業のことを優しく、時に熱く教えていただきました。ご迷惑をかけた面もあつたかもしれません、根気強く指導いただき、無事に就農となりました。どのような言葉をお伝えしたら良いか難しいですが、感謝の気持ちでいっぱいです。まだ

今年度の春より新規就農者となりました。今は農業の右も左もわかりませんが、農業のノウハウを吸収して前職で培ったスキルも活かし、新しい農業をしていきたいと思います。近隣の農家の皆様、農業関係の皆様、そして両親へ、精一杯努力してまいりますので、よろしくお願ひします。



29区 高宮
亮太

前職で学んだことを活かして、自分にしかできない農業というものを見つけていきたいです。そのためにも父や地域の農家さんから見たり聞いたりいろいろと学んでいきたいです。



大豆ほ場を見学する児童と青年部員



麦ほ場を見学する児童と青年部員

定です。予行う。途中下旬大豆収穫体験は10種を聞くのか」など多くの質問がでています。また、



この日は、参加した2クラスの児童が大豆と小麦のほ場見学、農業機械の試乗の2班に分かれて見学します。

この日は、JA青年部農産部プロジェクトは29区服部俊也さん宅で長沼小学校3年生に対し、大豆ほ場や農業機械の見学会を開催しました。

長沼小学校の3年生は、地域の代表的な作物である大豆について学習を深め、大豆づくりに関わる人たちの苦労や思いを学んでいます。

この日は、JA青年部農産部プロジェクトは29区服部俊也さん宅で長沼小学校3年生に対し、大豆ほ場や農業機械の見学会を開催しました。

した。

実際にほ場

に入つて

作物に触

れてもら

い、生育

について



この日は、JA青年部農産部プロジェクトは29区服部俊也さん宅で長沼小学校3年生に対し、大豆ほ場や農業機械の見学会を開催しました。

長沼小学校の3年生は、地域の代表的な作物である大豆について学習を深め、大豆づくりに関わる人たちの苦労や思いを学んでいます。

この日は、JA青年部農産部プロジェクトは29区服部俊也さん宅で長沼小学校3年生に対し、大豆ほ場や農業機械の見学会を開催しました。

した。

実際にほ場

に入つて

作物に触

れてもら

い、生育

について

この日は、JA青年部農産部プロジェクトは29区服部俊也さん宅で長沼小学校3年生に対し、大豆ほ場や農業機械の見学会を開催しました。

長沼小学校の3年生は、地域の代表的な作物である大豆について学習を深め、大豆づくりに関わる人たちの苦労や思いを学んでいます。

この日は、JA青年部農産部プロジェクトは29区服部俊也さん宅で長沼小学校3年生に対し、大豆ほ場や農業機械の見学会を開催しました。

した。

実際にほ場

に入つて

作物に触

れてもら

い、生育

について

作物に触

小麦採種組合

ほ
場
審
査

第1期審查

6月9日に第1期、7月3日に第2期ほ場審査が実施され、全筆合格となりました。収穫・出荷に向けての注意点などを普及センターの菅原専門主任と森主査から確認を行いました。

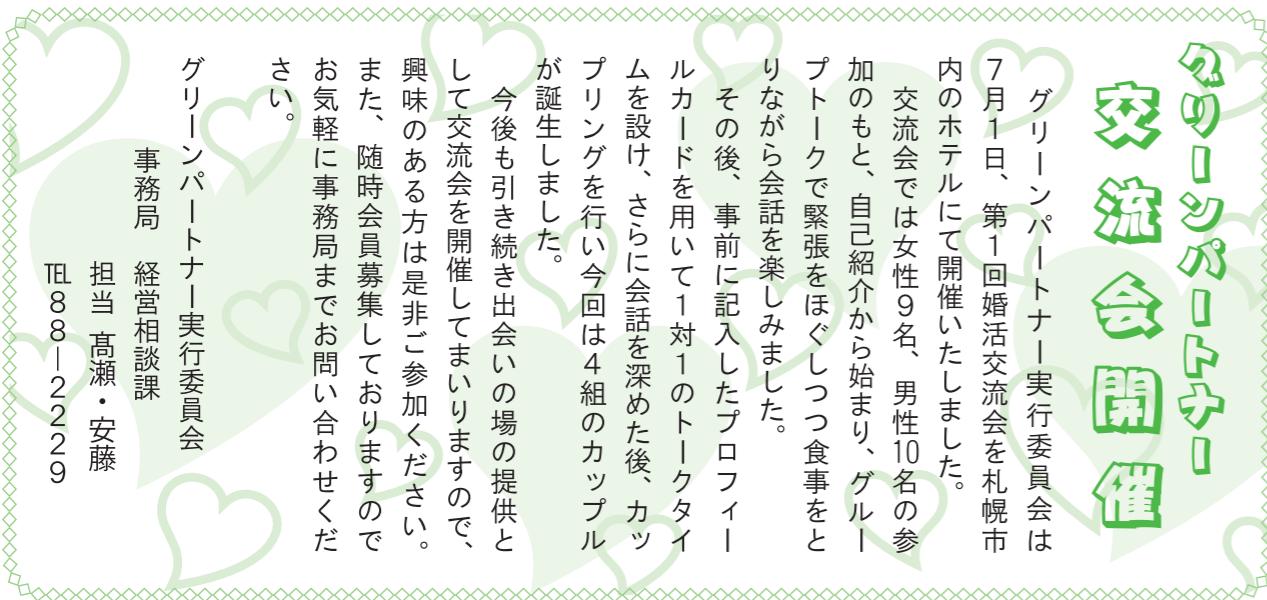


交流会開催

クリーンパートナー実行委員会は
7月1日、第1回婚活交流会を札幌市
内のホテルにて開催いたしました。
交流会では女性9名、男性10名の参
加のもと、自己紹介から始まり、グルー
プトークで緊張をほぐしつつ食事をと
りながら会話を楽しみました。
その後、事前に記入したプロフィー
ルカードを用いて1対1のトークタイ
ムを設け、さらに会話を深めた後、カツ
プリングを行い今回4組のカップル
が誕生しました。

今後も引き続き出会いの場の提供と
して交流会を開催してまいりますので、
興味のある方は是非ご参加ください。
また、隨時会員募集しておりますので
お気軽に事務局までお問い合わせくだ
さい。

ンパートナー実行委員会
事務局 経営相談課
担当 高瀬・安藤
TEL 088-222209



研修会開催

7月4日、農産物の出荷最盛期を迎えるにあたり、柴田代表理事組合長より施設稼働前の安全操業の訓示に続き、「施設事故防止研修会」をJA並びにFAMO長沼施設担当者総勢28名参加のもと開催されました。

ホクレン農業協同組合岩見沢支所米穀課後藤係長並びに今野担当を招き開催されました。後藤係長より「施設における品質事故防止」「施設におけるクレーム対応」の重点項目につき説明をいただき、有意義な研修となりました。

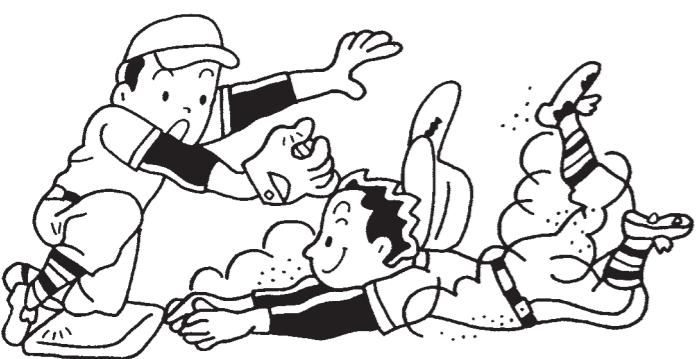


J A 野球大会

7月3日・5日の2日間において、第64回空知管内JA野球大会が新十津川町にて開催されました。本大会には空知管内9JAとホクレン連合の計10チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

JJAながぬまの1試合目は、JJAたきかわと対戦しました。終盤まで終始緊迫した試合となりましたが、見事2対1で勝利。続く準決勝では、前年度優勝のJAきたそらちと対戦しましたが惜敗となりました。





大豆採種組合 ほ場審査・ 見地研修会

7月18日に第1期ほ場審査が実施され、全筆合格となりました。第2期ほ場審査に向けての注意点などを普及センターの菅原専門主任と森主査から確認を行いました。ま



現地研修会

現地研修会を行い、マジンクイガの適期防除などを確認しました。



第1期審查

種いも採種組合 第3期種馬鈴しょ 防疫検査

7月13日、令和5年度種馬鈴しょ第3期防疫検査が実施されました。

横浜植物防疫所の検査官により病害虫の有無などが厳しく検査された結果、本年もほ場全筆合格となりました。



いちご共選開始

いちごの共選が6月22日にスタートしました。日量500パックが選別され道内外の洋菓子業態や加工原料として出荷されています。



特別金利キャンペーン実施中

住宅ローン

住宅の新築・中古住宅の購入や修理費用等

- 期間：令和6年1月31日（水）まで
- 金利：3年固定 0.5% **更に3年間は
5年固定 1.1% ▶▶ 0.8%
10年固定 1.25% ▶▶ 0.95%**



マイカーローン

自動車（新車・中古車）の購入や車検・修理費用等

- 期間：令和6年1月31日（水）まで
- 金利：変動金利 **2.1% ▶▶ 1.55%
固定金利 2.6% ▶▶ 2.05%**

組合員加入+下記①～④いずれか1つの該当で**0.5%引下げ**
更に、過去マイカーローンをご利用いただいた方は**0.05%引下げ**
①給与・年金振込 ②JAカードローン
③JAカード（一体型）
④公共料金自動引落



詳しくは金融部融資課
(TEL88-2224)まで
お気軽にご相談ください！

不要農機具・タイヤ等を回収いたします！

■回収日時～令和5年8月30日(水)(1日のみ)
午前9時～午後3時

■受入場所～JAながぬま 農協16号倉庫奥

無料回収農機具

トラクター、コンバイン、田植機、乾燥機、作業機、鉄材（ハウスパイプ・金具）、アルミ材、バッテリー
(木製農機具は回収できません)

有料回収品

タイヤ

■タイヤ回収料金（消費税込）

| | タイヤ | | タイヤにホイル、汚れ、土砂、粒殻等あり | |
|-----------|----------------|--------|---------------------|--------|
| | 夏タイヤ スタッドレス | スパイク | 夏タイヤ スタッドレス | スパイク |
| 乗用車 | 330円 | 440円 | 660円 | 880円 |
| 2t～4t・4WD | 660円 | 880円 | 1,100円 | 1,320円 |
| 11t | 1,320円 | 1,540円 | 1,980円 | 2,200円 |

※ 上記以外のチューブ、フラップは110円/1本
また、大型のタイヤ、キャタピラ、トラクタータイヤは別途料金となります。
およそ11,000～33,000円/1本

お問い合わせ

主催は農機具とタイヤで各々異なりますが、
いずれもご不明点等については下記までご連絡ください。

本所資材センター TEL88-2307

加工馬鈴しょ ほ場撮影

7月14日、4区片山敬一さんのほ場にて、契約先であるカルビーポテト株による写真撮影が行われました。



昨年も全道1100戸を超える契約農家の中で上位に入り表彰を受けたなど産地としての評価も高く、本年秋に控えた新たな取組みに向けた宣材写真の撮影でした。

実施消防避難訓練を

7月11日、消防法施行令により年2回の消防訓練の実施が義務付けられていますことから、本所事務所・A



火災報知器の非常ベルを鳴らし、火元の確認、初期消火活動、消防署への通報と事務所・店舗内での避難誘導の訓練を実施しました。また、消火訓練では株式会社ユニ商会の指導により水消火器を使って消火作業を行い、万が一の火災発生時に対処出来るよう備えました。



農協では、これから社会を担っていく子供たちに、日本の農業、それを支える扱い手やJAについて理解を深めてもらうために、長沼小学校の5年生の児童と教諭らに食農教育の教材を贈りました。

りんを贈る 小学生にちやぐ

JAながぬま 2023年8月号 8

(2) は種期とは種量の目安（大豆落葉前）

品種、は種時期による 10a は種量が異なります

| 品種 | 9月1～5日 | 9月6～10日 | 9月11～15日 |
|-------|---------|---------|----------|
| きたほなみ | 7～8kg | 9～10kg | 11～12kg |
| ゆめちから | 10～11kg | 12～13kg | 14～15kg |

※ 要注意

生育良好な大豆ほ場における9月5日前の「きたほなみ」は種量は、8kg／10a以下としてください。ただし、枕地などの発芽しづらい部分は目安より5割程度多くは種しましょう。

(3) 混麦防止

春まき小麦収穫後の同一ほ場における秋まき小麦のは種および、秋まき小麦品種変更による小麦連作栽培は、混麦発生が極めて高くなります。

最近の混麦事例では、大豆1作後（間作）でも多くの野良生え小麦による混麦発生が確認されています（写真）。

品種変更する場合は、同一ほ場において小麦以外の作物を2年以上栽培し、小麦の野良生えを極少なく除去する方策が必須です。小麦の品種変更へは3年以上先を見込んだ作付け計画が必要です。



写真 混麦発生ほ場の状況
「ゆめちから」ほ場に「きたほなみ」

秋まき小麦「きたほなみ」から秋まき小麦「ゆめちから」へ変更例

| | 1作目 (1年目) | 2作目 (2年目春) | 3作目 (3年目春) | 4作目 (3年目秋) |
|-----|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 体系1 | 小麦「きたほなみ」 | 大豆 | 大豆 | 間作小麦「ゆめちから」 |
| 体系2 | 小麦「きたほなみ」 | 大豆 | 野菜(8月収穫) | 小麦「ゆめちから」 |
| 体系3 | 小麦「きたほなみ」 | 大豆 | 馬鈴薯(8月収穫) | 小麦「ゆめちから」 |

注 1作目小麦収穫後、緑肥栽培や緑肥栽培終了後に野良生え小麦を除草処理する

8～9月の

ポイント

秋小麦栽培



1. 収穫後のほ場管理

(1) 麦稈処理と雑草対策

麦稈は、速やかにほ場から搬出し、残った麦稈は細断後、浅めにすき込む。

雑草発生ほ場では、麦稈すき込み10日程度後、雑草発生揃い時期にラウンドアップマックスロードなどで雑草処理を実施しましょう。

(2) 排水改善

排水路の清掃（排水路の滞水回避）、心土破碎、額縁明渠の施工、暗渠排水の再整備、カットドレン等による補助暗渠の施工をしましょう。

(3) 土壌pHを確認し、pH 5.5～6.0を目指す

土壤診断によりpH確認し、炭カルなどpH改善しましょう。

※ pH 6.0矯正への炭カル施用量 (kg/10a 改良深10cm)

| 測定値 (pH) | 5.0 | 5.2 | 5.4 | 5.6 | 5.8 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 砂壤土 | 169 | 135 | 102 | 68 | 34 |
| 壤土 | 251 | 202 | 150 | 101 | 48 |
| 埴壤土 | 337 | 270 | 202 | 135 | 67 |
| 埴土 | 424 | 338 | 255 | 169 | 43 |

※ アレニウス氏表による酸性矯正より（腐植程度：含むの場合）

(4) 緑肥作物栽培で土づくり

小麦収穫後から8月中旬までに、緑肥をは種し土壤構造改善を！

緑肥作物の例

| 種類 (品種) | 10a は種量 | 10a 施肥N量 | すき込み時期 |
|----------------|---------|----------|---------|
| エン麦 (スワン) | 15～20kg | 4～6kg | 10月上旬 |
| エン麦野生種 (ヘイオーツ) | 10～15kg | 5kg | 10月上～中旬 |
| シロカラシ (キカラシ) | 2～3kg | 5kg | 10月上旬 |

※ 次作アブラナ科作物予定の場合は、シロカラシは使用しない

2. 大豆間作小麦のは種

(1) 大豆の生育不良ほ場での大豆間作小麦の作付可否の判断

大豆の生育不良ほ場で間作小麦のは種は、発芽不良を起こしやすく、最悪の場合は廃耕につながります。次の判断方法（例）を参考に検討しましょう。

※ 大豆間作小麦作付の判断方法（例）

・判断時期：8月25日～9月1日頃

・判断方法：生育良好（茎長35cm以上）・・・間作小麦可能
生育不良（茎長35cm以下）・・・間作小麦は種後、畦間カルチ処理
生育不良・雑草多発 ・・・間作小麦は中止

2. カビ莢・腐敗粒対策

9月上旬以降の天候によっては、昨年多発したカビ莢・腐敗粒が予想されます。特に、生育の早い大豆は薬剤防除を必ず行い、腐敗粒・被害粒の発生を軽減しましょう。

【発生しやすい条件】

収穫始期9月上旬頃の気温が高く、多雨に遭遇すると、種子にカビが発生する危険性が高く、品質が劣化します（表）。

風雨にもまれるなど、傷が生じることで、感染被害が大きくなります。

小粒種「ユキシズカ」など莢割れが少ない大豆は被害が少ないが、中大粒種で莢割れしやすい大豆では、腐敗粒被害が発生しやすくなります。



写真 カビにより莢・茎が黒変

表 道央における「ユキホマレ」のは種期と収穫時期気象条件によるカビ粒発生率

平成12年 北農研センター

| は種日 | 成熟期(月日) | 降水量(mm) | 平均気温(°C) | カビ粒率(%) |
|------|---------|---------|----------|---------|
| 5/18 | 9/18 | 80 | 20.4 | 30.1 |
| 5/20 | 9/28 | 84 | 18.8 | 3.1 |
| 6/8 | 9/29 | 69 | 18.7 | 0.8 |

降水量：成熟期14日前から成熟期までの積算値

平均気温：成熟期14日前から成熟期までの積算の平均値

【カビ莢・腐敗粒防除の目安】

※8月25日～9月10日 収穫20～30日前に下記の殺菌剤処理が効果的です
主な大豆登録殺菌剤

| RACコード | 農薬名 | 使用倍率 | 使用時期 |
|--------|--------------|-------|---------|
| 11 | アミスター20フロアブル | 2000倍 | 収穫7日前まで |
| 3 | シリバキュアフロアブル | 2000倍 | 収穫7日前まで |
| 7 | ミリオネアフロアブル | 4000倍 | 収穫前日まで |

3. 雑草対策

草丈1～1.5mに達するような大型シロザ（アカザ）やオオイヌタデなどの広葉雑草が優先して大豆の草丈を覆い尽くすと大きく減収や汚損粒の発生原因になります。

雑草が1m以上になると畦間・株間処理はできません。大豆の草丈以下のうちに雑草抜き取りほ場から搬出しましょう。

※北海道農協畑作・青果対策本部決定方針（継続）

【大豆栽培におけるグリホサート剤収穫前処理について】

- 「落葉終期～収穫14日前」での使用は、品質低下ならびに適用外となるリスクがあることから使用を控えることとする。
- 上記登録内容で使用した場合、JAの大豆共計では取り扱わないこととする。

8～9月の

ポイント

大豆栽培



1. 害虫防除

(1) マメシンクイガ防除

今年の大豆は、は種および出芽時期によって開花時期が異なります。

5月中旬は種の生育・・・開花始：7月8日 開花期：7月10日

莢の伸長を確認の上、マメシンクイガの適期防除を行い、被害粒の発生を減らしましょう。

【防除の目安】

1回目：開花始めから13～14日後頃

1回目防除 生育の早い大豆

7月21日～8月1日

生育の遅い大豆（5月下旬～6月は種）8月1日～5日

2回目：1回目防除の10日後頃

(2) カメムシ防除

近年カメムシによる加害が多く見受けられます。大豆子実を加害する時期は、カメムシ類の種類によって若干異なりますが、8～9月に発生した新成虫が加害します。8月中下旬に防除を行いましょう。特に、雑木林や雑草地が近隣にあるほ場は要注意です。

<防除例>

| 散布時期 | RACコード | 農薬名 | 使用倍率 | 効果発現 | 残効性 |
|--------------------|--------|--------------|-------|------|-----|
| マメシンクイガ1回目 8/1 | 28 | プレバソンフロアブル5 | 4000倍 | 速 | 長 |
| マメシンクイガ2回目 8/10 | 3A | ゲットアウトWDG | 3000倍 | 速 | 中 |
| | 3A | またはバイスロイド乳剤 | 1000倍 | 速 | 長 |
| カメムシ 8/17 | 3A | バイスロイド乳剤 | 1000倍 | 速 | 長 |
| | 4A | またはモスピランSL液剤 | 3000倍 | 中 | 長 |

※ プレバソンフロアブル5は、「カメムシ」に対する防除効果が低い。

※ 効果発現、残効性は、「くみあい農作物病害虫・雑草防除ガイド」を参考とした。

(3) ハダニ発生防除

高温（30°Cを超える）乾燥は、ハダニの発生を助長します。葉の裏が蜘蛛巣状に見えると、ハダニが発生していると思われます。特に、風通しが悪い、雑木林や雑草地が近くにあるほ場は要注意です。以下の農薬は、マメシンクイガとの同時防除が可能です。

| 農薬名 | RACコード | 使用倍率 | 使用回数 | 使用時期 |
|---------|--------|-------|------|----------|
| カスケード乳剤 | 15 | 4000倍 | 2回以内 | 収穫7日前まで |
| トクチオン乳剤 | 1B | 1000倍 | 3回以内 | 収穫30日前まで |

今一度 土壤病害等 蔓延防止に向けて

1. 町内の現状

- ◆種馬鈴しょにおいて平成27年にジャガイモシストセンチュウを確認。以後、集荷場に車両洗浄装置を設置。町内数か所に注意看板を設置。
- ◆ブロッコリー及び白菜を主としたアブラナ科作物の面積増により、根こぶ病の確認が増えてきている。特に連作圃場においては収穫不可の事例も年々増加。
- ◆麦、大豆においても収量に多大な影響を及ぼす有害雑草や土壌菌の拡大も見られる。
- ◆施設野菜では土壌伝染性病害虫(根腐病、センチュウ)の寄生が散見されている。

2. 蔓延拡大が進んだ他産地の事例

- ◆アブラナ科の増産により根こぶ病が蔓延した産地では、管内の集落各所に洗浄施設を整備するなど多大な費用を掛けて被害縮小に努めている。
- ◆国内においても平成初期より作付けしているブロッコリー先進産地では根こぶ病蔓延により減産を強いられているところもある。
- ◆蔓延拡大の要因として、収穫機やロールベーラー等に付着しての種子の持込み、トラクター等タイヤに付着した汚染土砂の移動及び道路へのまき散らしを主に挙げ、これらについて強い防止策を講じて対応している（圃場移動の際は土落とし、作業機の洗浄を必須としている）。

3. 拡大を防ぐために

- ◆圃場から出る際はタイヤ及び作業機に着いた土を落とす。
- ◆作業後の機械には、種子や菌が付着しているものと認識して必ず取り除く。
- ◆道路に土を落とした場合は放置せず必ずそれらを排除する。



3月の 水稻栽培 ポイント

1. 水管理

(1) 登熟期前半の水管理

①出穂が始まったら即入水！

開花・受精後、米粒は急速に生長します。

②間断かんがい

出穂後は速やかに入水、土壌水分を確保し、浅水管理または、間断灌漑を行いましょう。

(2) 登熟期後半の土壌水分管理

①落水後の水管理

田面に長靴のかかと跡が1cm程度つく状態に排水良好田は、用水の断水前に、5~10cm湛水し土壌水分の維持を図りましょう。

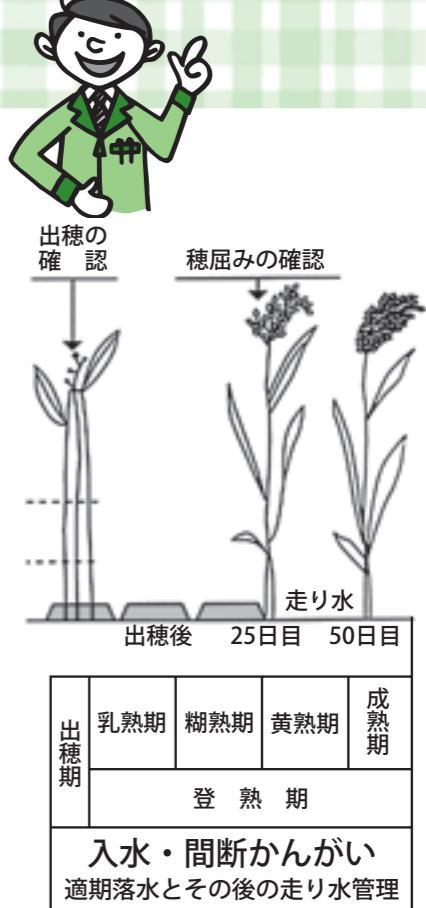
②土壤別に落水時期を決めましょう！

ア 排水良好田

出穂期後25日頃まで間断灌漑、その後落水。

イ 排水不良田

出穂期~出穂揃に落水し、根の活力を維持し、1cm以上のヒビが入る前に必ず走り水を実施。



2. 病害虫防除

(1) いもち病

出穂防除後、予察で発生していない場合は、2回目の防除は省略可能ですが、葉いもちの発生が多く出穂が長引く場合は、出穂が完了するまで7日間隔で追加防除します。

(2) カメムシ防除

カメムシの発生は例年より多い傾向です。

カメムシ（アカヒゲホソミドリカスミカメ）基幹防除は、必ず出穂期とその後7~10日の2回です。茎葉散布3回目以後の追加防除は、散布予定日（7~10日間隔）の2~3日前に水田内のすくい取り調査（20回振り）を行い、品種と要防除水準（表2）に応じて防除実施しましょう。

表1 いもち病およびカメムシ防除農薬例

| 防除時期 | 出穂期 | 出穂期防除後7~10日 | |
|------|---|---------------------------------|----------------|
| 主な農薬 | (いもち病・カメムシ) ダブルカットトレボン ビームエイトトレボン ブラシンドントツ | (カメムシ) スタークル キラップ ダントツ | (いもち病) プラシン |

※ 10a当り使用量および使用倍率など詳細は、令和5年度水稻栽培基準を参照

表2 カメムシ追加防除の要防除水準（捕虫網20回振りカメムシ頭数）

| 割粒率 | 高い | 中程度 | 低い |
|---------------------------|----------------|-----------------|---------------|
| 品種名 | ななつぼし ほしのゆめ | ゆめぴりか きらら397 | そらゆき きたくりん |
| 出穂10~12日後 (追加防除の2~3日前) | 1頭 | 2頭 | 3頭 |

※ 割粒率は、割粒歩合基準品種でランク推定した

事故にあった！ 故障して動かない！

こちらに
お電話ください！

24時間 365日 事故受付とアドバイス

事故等の場合には

J A共済
事故受付
センター 0120-258-931

レッカーサービスや故障時の応急対応が必要な場合には

J A共済
サポート
センター 0120-063-931

レッカーサービス

現場から100km以内のけん引が 無料！

事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカーカーで現場へ急行し、最寄りの修理工場等までお車をけん引します。



●事前にJAまたはJA共済サポートセンター(JA共済事故受付センター)に要請された場合に本サービスの対象となります。(ご自身で手配された場合は本サービスの対象外となります)

※トラブルの状況や手配内容によっては、ご利用者さまに費用のご負担が発生する場合があります。

※ロードサービスについて、30分を超えた場合の超過時間に応じた作業にかかる費用、部品代・オイル代・ガソリン代等の実費は、サービスご利用者さまのご負担になります。
※JAF会員であるご利用者さまについては、ご利用者さまのご了承のもと、JA共済サポートセンターからJAFを手配する場合があります。その場合、レッカーサービスのけん引距離については現場から115kmまでのけん引に要する費用をサービス対象範囲とします。ロードサービスの作業時間については30分程度で対応可能な応急対応に要する費用に加え、30分を超えた場合の超過時間に応じた作業にかかる費用について5,000円(税込)を限度にサービス対象範囲とします。

ロードサービス

30分程度で対応可能な応急対応が 無料！

故障・トラブルにより自力走行不能となった場合に、対応業者が現場へ急行し、お車の応急対応を行います。



夜間休日 現場急行サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。



※本サービス受付時間は、平日：0時～8時、17時～24時、土日・祝日：8時～24時。

※事故現場からお電話いただき、ご利用者さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。

※原則として、対応員の出勤拠点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります。ただし、高速道路、離島、山間部など一部の場所は本サービスの対象外となります。

※JA共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が急行します。

■各種サービス共通の注意事項(サービスのご利用にあたっては既定の条件があります)。

※交通事故、気象状況等により、サービス業者の到着に時間がかかる場合はサービスのご提供ができない場合があります。

※資料は各種サービスに関するすべての内容を記載しているものではありません。サービスのご利用条件・提供範囲など、詳細については「ご契約のしおり・約款」をご参照ください。

※このチラシの記載内容は令和5年4月時点の取扱いによるものです。(有効期限:令和5年12月31日まで)

夜間休日 初期対応サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応(事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等)を行います。

※本サービスの受付時間は、平日：17時～21時(対応は22時まで)、土日・祝日：9時～21時(対応は22時まで)です。

※対人賠償事故(人身傷害事故を含みます)、対物賠償事故、車両費用保険特約のついた車両単独事故が対象となります。

※ご契約内容が確認できない場合、既に加入先のJAの損害調査サービス担当者が対応中である場合等、本サービスを実施できない場合があります。

※JA共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が急行します。

休日 契約者面談サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し、事故に関するご質問・ご相談に親身にお応えします。

※本サービスの受付時間は、金曜・祝前日：17時～24時、土曜・日曜・祝日：0時～17時です。

※対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象となります。

※ご契約内容が確認できない場合、既に加入先のJAの損害調査サービス担当者が対応中である場合等、本サービスを実施できない場合があります。

※JA共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が急行します。

お問い合わせ JAながぬま 金融部 共済課 TEL 88-2225

JA共済

23019990053

JA共済

JAの自動車共済 安心サービスのご案内

ご契約の自動車が事故や故障に見舞われたときは

ご契約のJA(業務時間内)もしくは

安心サービス

(24時間 365日受付)

JA共済事故受付センター

ジコハクミアイ

0120-258-931

レッカーサービスや
故障時の応急対応が
必要な場合には

JA共済サポートセンター

ジコハクミアイ

0120-063-931

フリーダイヤル 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

安心の5つのサービス

●レッカーサービス

●ロードサービス

●夜間休日現場急行サービス

●夜間休日初期対応サービス

●休日契約者面談サービス

24時間・365日、事故受付とアドバイス、各種サービスが受けられます。

もし 事故が起きたら…

なにより
119番

まず、
被害者の
保護を。

かならず
110番

警察に
必ず
事故通報を。

わすれず
JAへ

事故通知を
JAへ。

■応急手当、救急車の手配を行ってください。軽いケガや自覚症状のない場合でも、医師に診断をしてもらうようにしましょう。事故車をそのままにしておくと、交通事故や後続事故の原因となります。すぐに安全な場所へ避難しましょう。

■警察には次の事項を連絡します。

- ①事故発生の日時と場所。
- ②負傷者の人数とその程度。
- ③壊したものとその程度。
- ④事故に対して講じた措置。

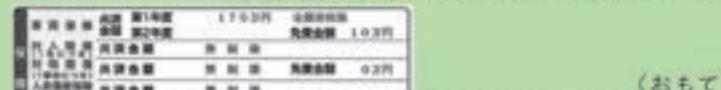
■警察への連絡後、JAへ詳しい通知、および相談をします。できるだけ現場での状況が的確にわかるよう相手方、目撃者からの確認とメモを忘れずに。

■JAへも次の要点をご連絡ください。

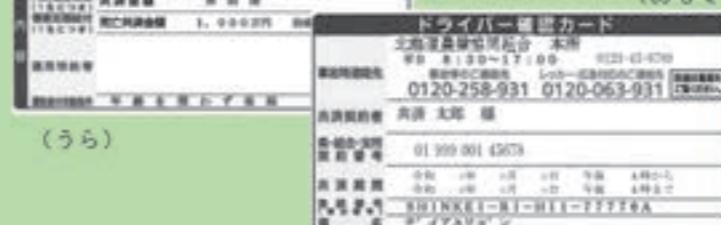
- ①事故状況・日時・場所。
- ②相手方の住所・氏名・連絡先・傷害の程度・病院名・車両番号。
- ③目撃者の住所・氏名。
- ④届出警察署と担当官。

「ドライバー確認カード」を携帯しましょう！

自動車共済証書の下に「ドライバー確認カード」がついています。



(おもて)



(うら)

「ドライバー確認カード」には、事故が起こったときの連絡先や契約の情報が記載されています。

車検証とともに保存なさるか、あるいは、免許証とともにお持ちになってください。

加速する「食」のグローバル化

有事にも食料供給の安定をはかるために



農産物の輸入額は大きく増加

日本の食料自給率(カロリーベース)は38%と低迷していますが、2000年からの約20年間で、農産物の輸入額は約2.3兆円も増え、2020年には約6.2兆円輸入しています。一方で、輸出額は同じ期間に約4,900億円増加し、2020年の輸出額は約6,600億円となっています。



「食」のグローバル化が、日本の食料供給に与える影響

近年、農産物市場を含めた経済連携協定の発効がすすみ、「食」を取り巻くグローバル化が加速しています。これらの経済連携協定は、私たちの食生活に豊かさをくれる一方で、日本にとっては食料の輸入増加を促す可能性があり、それは結果として、さらなる食料自給率の低下を招く可能性もあります。



「国消国産」で、輸入に依存せず食料供給に安定を

食料自給率が低い状態で万一輸入がストップしてしまったら、国内の食料需要を満たせるのか。コロナ禍で実際に、約20か国が食料の輸出規制に踏み切りました。幸いにも、それらの国から日本は食料を多く輸入していなかったため、大きな影響はありませんでしたが、

輸出国もいざという時は自国内の供給を優先する傾向がわかりました。「食」のグローバル化がすむ中だからこそ、「国」民が必要とし「消」費する食料は、できるだけその「国」で生「産」するという「国消国産」をすすめていくことに、大きな意味があります。

- 1 日本の農産物輸入は増加傾向で、2020年の輸入額は6.2兆円にのぼる
- 2 「食」のグローバル化がすすみ、さらなる食料自給率低下の可能性
- 3 輸出国もいざという時は自国内の供給を優先、「国消国産」で食料供給に安定を



耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ

増加する世界の人口

将来にわたって食料の安定確保のために



世界では人口が増え続けている

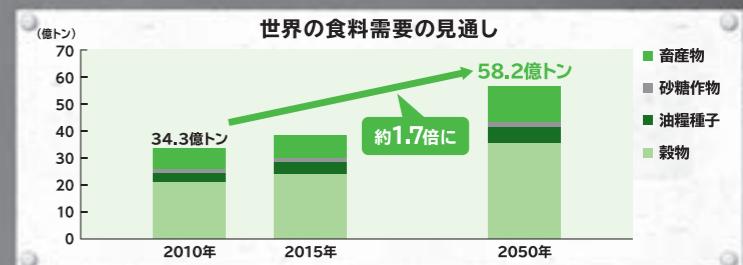
今世界には、約78億人*が生活していますが、この人口はさらに増え続け、2050年には97億人まで増加する見通しです。2010年からの40年間で、世界の人口は約1.4倍にもなるということです。人口の増加が予測される地域の大部分はアフリカとアジアの開発途上国です。飢餓問題が解決していない地域で、これ以上人口が増加すると、食料不足や栄養不足がさらに進んでしまうことが危惧されます。

*国連人口基金「世界人口白書2020」より



人口増加にともない食料需要も増大、食料供給の観点でリスク増大

2010年から2050年までの40年間で、世界が必要とする食料は、約1.7倍に増加すると予測されています。これまで品種改良や化学肥料の普及、農業の機械化などによって、主に単収を伸ばすことで農業生産の増加を可能としてきました。今後、世界は食料の増産、食料供給の観点で大きなりスクを抱えています。



「国消国産」で、世界の食料供給に安定を

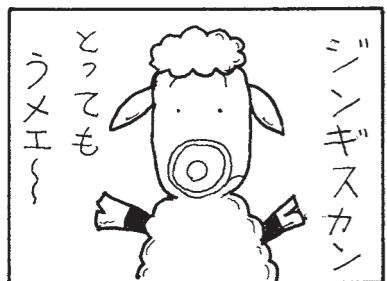
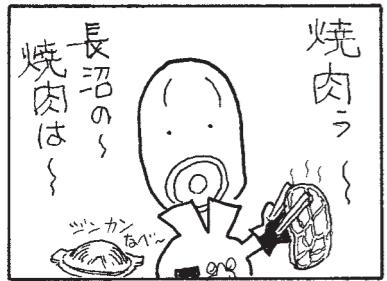
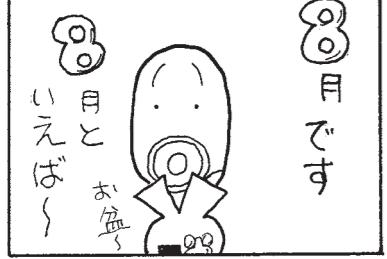
日本が国内生産を増やす間に、食料を海外に依存し続けたらどうなるか。安易に途上国から輸入することで、その国の食料を奪う可能性はないのか。一方で、日本は将来にわたって、海外から食料を輸入し続けられるのか。世界の食料の安定確保のために、私たちができること。それは、「国」民が必要とし「消」費する食料は、できるだけその「国」で生「産」するという「国消国産」をみんなですすめ、まずは自国の食料自給率を向上させていくことが何より大切です。

- 1 世界の人口は開発途上国を中心に増加
- 2 人口増加にともない食料需要も増大、食料供給の観点で大きなりスク
- 3 「国消国産」で、世界の食料の安定確保に貢献を



耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ

JAながぬま



宮農資材課より お知らせ

肥料取りまとめの秋取り肥料(10月～12月納品分)の変更期日は**9月15日**までとなっております。

変更のある方は、本所資材センターまでご連絡ください。

令和5肥料年度 秋取肥料(令和5年10月～12月納品)注文書

| | | | |
|-----------------------------|-----|-----|------------------------------|
| 提出期日: 令和5年7月14日 | 第 区 | コード | 長名 |
| 【変更期日について】秋取期分: 令和5年9月15日まで | | | |
| 【個袋】 | | | |
| 品名コード | 品 名 | 容量 | 秋取り 注文数量 |
| | | | 10月 11月 12月 |
| | | | 自己取り 日農 JA 配送 希望 (○・X) |
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |

お問い合わせ

ながぬま農協資材センター TEL 88-2307

年金友の会 事業参加申し込みご案内

道外研修旅行

| | |
|-------|----------------------|
| 行 先 | 長崎・福岡 2泊3日 |
| 実 施 日 | 令和5年11月14日(火)～16日(木) |
| 申込期日 | 令和5年9月15日(金)迄 |

多数の参加をお待ちしております。

申し込み・お問合せ

年金友の会事務局
金融部貯金課 高田・富澤
電話 88-2224



農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

農業者の
みなさまへ

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

農作業中の熱中症

- 毎年、約30名の方が農作業中の熱中症により死亡
- 死亡事故の約85%が7～8月に発生している一方で3～6月にも発生



予防のポイント

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



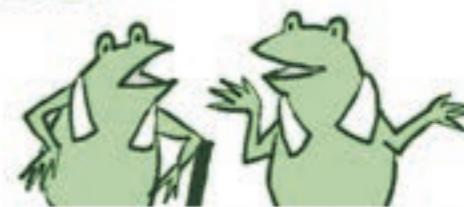
こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!!

農林水産省



理事会報告－第7回－

《令和5年7月18日開催》

[議案]

- 第1号 第1四半期自治監査講評
第2号 共同計算の精算について
・令和4年産食用馬鈴しょ
・令和4年産種子馬鈴しょ

[報告事項]

- 会議・行事等の報告について
- 組合員の加入及び脱退の状況について
- 農作物生育状況等について
- 経営所得安定対策の申請状況について
受付 令和5年5月29日～
6月2日 交付申請者526件(昨年度532件)
- 令和5年産 野菜・花き市況等について
- 子会社第1四半期の状況について
- 内部監査報告(共計精算書の正確性)について
- その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。



今月の組合員数 (前月比)

- 組合員 1,544名(-2)
正組合員 806名(±0)
准組合員 738名(-2)
正組合員戸数 625戸(±0)

農協の動き 6/26～7/18

6月

| | | |
|-----|-----------------------|---------|
| 26日 | いちご共選場操業開始 | 於 共 選 場 |
| 27日 | 南空知地方安全運転管理者事業主会・通常総会 | 於 岩見沢市 |
| 28日 | 法人会交流会 | 於 長沼温泉 |
| 28日 | 種いも第2期防疫検査 | 於 種いもほ場 |
| 29日 | 穀バラ施設運営協議会 | 於 農 協 |
| 29日 | 事業推進員会議 | 於 農 協 |

7月

| | | |
|-------|----------------------------|------------------------|
| 1日 | 第1回グリーンパートナー交流会 | 於 札幌市 |
| 2日 | 長沼町水祭り | 於 長沼神社 |
| 3・5日 | 空知管内JA野球大会 | 於 新十津川町 |
| 4～7日 | みのり監査法人 期中I監査 | 於 農 協 |
| 4日 | 施設長会議(小麦乾燥施設) | 於 農 協 |
| 4日 | 麦バラ施設運営協議会・自主検定委員会 | 於 農 協 |
| 4日 | ブロッコリー輸出(台湾)第1回 | 於 野菜集出荷施設 |
| 4日 | 施設事故防止研修会 | 於 農 協 |
| 5日 | 営農小委員会 | 於 農 協 |
| 5日 | 北海道農協畑作・青果対策本部委員会 | 於 札幌市 |
| 6日 | 栗山地区防犯協会総会 | 於 栗山町 |
| 6日 | 南空知地方安全運転管理者事業主会 栗山支部総会 | 於 栗山町 |
| 6～11日 | 経営所得安定対策現地確認 | 於 町 内 |
| 7日 | 北海道土地連空知支部 臨時全体会議 | 於 岩見沢市 |
| 11日 | 避難訓練 | 於 資材センター 本所事務所・Aコープ |
| 12日 | J Aバンク北海道推進委員会 | 於 空知農業会館 |
| 12日 | 種いも第3期防疫検査 | 於 種いもほ場 |
| 13日 | 小麦下見指導開始 | 於 中央検査場他 |
| 13日 | 旗の波街頭啓発 | 於 町 内 |
| 13日 | 空知管内農協組合長会議 | 於 岩見沢市 |
| 18日 | 理事会 | 於 農 協 |
| 18日 | 第5回監事会 | 於 農 協 |
| 18日 | 令和5年度 新規就農者激励会 | 於 長沼町役場 |



| 月号 | 定価(税込) |
|-------------------|--------|
| 普通月号 | 629円 |
| 付録月号(1・4・5・7・9月号) | 922円 |
| 付録月号(家計簿付き12月号) | 1,027円 |

お申し込みは

営農企画課 ☎88-2232



JAだより ながぬま
2023.8月号 №.354

〒069-1393 夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号
発行/ながぬま農業協同組合 営農部営農企画課
TEL/0123-88-2226 FAX/0123-88-4113
URL/http://www.ja-naganuma.or.jp